

防災をテーマにした子どもたちへの先端教育、ワークショップの実施

住む 癒す 学ぶ
動く 楽しむ その他

①提案によって解決する自治体の課題のイメージ

- ・ ICT教育の推進、子どもたちへの先端教育の提供
- ・ 災害時に備えた安心・安全の確保のためのソリューション検討のきっかけ作り、ICTによる新しい街づくり（避難ルートナビの役割）

②提案の概要

- ・ 中学校等の教育機関と連携し、プログラミング（スクラッチ）やAI、blockchain、IoT、XR（VPS）など、多くの先端技術について触れ、学んでもらう授業・ワークショップを実施する。
- ・ 過去に実施した事例では、子どもたちが上記技術を学んだ結果、農業における収穫の効率化のための視覚支援アプリケーションや、建設現場などでの転倒検知を行うセンサーアプリケーション等、彼らが住む地域の課題を解決するための様々なアイデアが生まれた。
- ・ 今回は、被災地での実証であるので【防災・災害時に役立つ】をテーマに授業・ワークショップを実施したい。
- ・ 具体的にワークショップでは、こどもたちに3Dソフトを使ってアート作品を作ってもらい、それを地元の小学校や公民館等の避難場所の候補となる場所にVPSという視覚情報を元に、ARオブジェクトをマッピングする技術を活用して配置する。（携帯をかざすことで簡単に閲覧可能）
- ・ 将来的には、平時にはこどもの作品やアート作品の展示閲覧ツールとして、災害時には避難場所等へ視覚的に誘導するツールとして活用できるよう、普段から技術に触れて、親んでもらうきっかけ作りを目的とする。



③事業実施に対し必要な要件

- ・ 教育機関との連携（ふたば未来学園等）、機会の提供
- ・ 参加する学生がGIGAスクール端末を持参すること

④想定スケジュール

令和5年度10月～自治体との協議開始
 年内にワークショップ実施、年明け～アート作品の展示

⑤地元企業等とのマッチング希望

あり なし

会社名：株式会社DeNA